

自動定期券発売機に係る個人情報を含んだ USB メモリの紛失について

阪神電気鉄道株式会社では、西九条駅（大阪市此花区西九条3-15-13）の自動定期券発売機に係る個人情報を含んだ USB メモリを紛失したことが判明しました。

お客様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をお掛けいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。詳細は、次のとおりです。

1 経緯

自動定期券発売機につきましては、2015年2月に機能改善を実施しました。そこで、その改善状況を検証するため、6月24日（水）、駅務機器（自動改札機、券売機、自動定期券発売機等）に係る保守業務の委託先の係員が、西九条駅の自動定期券発売機のログデータを USB メモリに取り込みました。その後、当該 USB メモリを紛失していることが、7月2日（木）に判明いたしました。

2 紛失した個人情報

① 対象となるお客様

6月10日（水）午前7時30分から6月24日（水）午前10時30分の間に、西九条駅 自動定期券発売機で新規の磁気定期券を購入されたお客様

② 紛失件数

353件

③ 紛失した個人情報の内容

氏名、性別、年齢、生年月日、電話番号、郵便番号

3 お客様への対応及びご注意

対象となったお客様には、7月3日（金）から電話等により連絡を行い、直接お詫び申し上げますとともに、本内容をホームページに掲出し、皆様に周知いたしております。

対象のお客様へのご連絡につきましては引き続き継続しており、また、本件による二次被害発生情報は、現時点では受けておりませんが、対象のお客様におかれましては、勧誘電話やキャッシュカードの暗証番号等につきまして、今一度ご注意くださいようお願いいたしますとともに、何かありましたら、次の「5 お客様からのお問合せ先」記載の番号までご連絡くださいますようお願いいたします。

※ 7月10日（金）17:00までに、約9割弱のお客様へのご連絡を完了しております。

4 再発防止策

① 再教育の実施

個人情報を取り扱う従業員に対しまして、改めてその取扱いの重要性を再教育いたしました。今後も継続的に教育を実施し、個人情報の取扱いを厳格にするよう徹底してまいります。

② USB メモリの管理強化

作業で使用する USB メモリについては、セキュリティ付きのものを使用することとし、従来の USB メモリについては使用を中止しました。また、USB メモリを運搬する際は、鍵付きのボックスに入れ、施錠のうえ、持ち運ぶ運用に変更いたしました。更に、毎日、業務終了後に宿直責任者が USB メモリの数量チェックを実施したうえで、職場長がその運用状況を毎週チェックするなど、二重チェックの仕組みを構築し、USB メモリの管理を強化いたしました。

③ ログデータの暗号化

自動定期券発売機のログデータについては暗号化処理を施すことで、容易に読み取ることができないようにいたします（2015年9月までに実施予定）。

④ 委託会社に対する管理強化

委託会社における業務執行状況については、従前から毎月の定例会議で確認を行ってまいりましたが、更に毎年立入りによる監査を行うこととし、個人情報保護に関する取扱いをはじめとする委託業務が適切に行われていることを確認してまいります。

5 お客様からのお問合せ先

阪神電気鉄道(株) 運輸部営業課 TEL 06-6457-2258（平日9:00～17:00）